



2病棟 子どもたちの生活のひとコマ

みなさん! 7月のイベントの一つといえば七夕ですね。そして七夕といえば、♪笹の葉さらさら〜で始まる「たなばたさま」の歌ですが、2番目の歌詞にある♪五色(ごしき)の短冊〜、の“五色”とは何色かご存じでしょうか。

正解は、赤・黒(紫)・青(緑)・白・黄の五色です。この五色には中国の五行説が影響しています。五行説とは、世の中の全ては火・水・木・金・土のいずれかに当てはまり、それぞれが影響し合っているとする自然哲学の考え方です。そして、火・炎を表現する火は赤、命を育むことを表す水は黒(紫)、木々など自然の緑を表す木は青(緑)、大地に埋まる金属を表す金は白、大地の象徴でもある土は黄色に対応します。日本では、黒色は縁起が悪いという理由から、高貴な色である紫に変化し、また日本語の青は緑色も表す言葉だったため、緑色が含まれるようになったそうです。

さらに、この五色の短冊の色にはそれぞれ意味があり、願い事の内容にあった色の短冊に願い事を書くことで願いが叶いやすくなると言われています。赤の短冊は両親や目の上の人に“感謝”する事、紫(黒)の短冊は“学業”に関する願い事、青(緑)の短冊は“自分の成長”に関する願い事、白の短冊は“規則”や“義務”を守る達成の願い事、黄色の短冊は“人間関係”に関する願い事を書くこと、より効果的な短冊になるそうですよ。

このことを知った2病棟の子どもたちは、さっそく七夕に向けて自分の願い事にぴったりの短冊の色を選んで、「お母さん、私の事を一番に考えてくれてありがと

う」、「将来、色々な受験に受かりますように」、「東大へ行けますように」、「看護師さんになれますように」、「野球が上手くなりますように」、「ピアノが上手に弾けますように」、「身長が伸びますように」、「退院できますように」、「保育園いく」等とたくさんの願い

事を書きました。短冊以外の飾りについても、意味や込められている願いを知ると「なるほど!ならば真剣に作ろう」と、どの子も黙々と折り紙制作に集中していました。

できあがった七夕飾りは、本物の笹に子どもたちと一緒に飾り付けました。笹は真っ直ぐ天に向かって伸びることから、生命力に溢れ神聖な植物であり、天界にいる神様等に願い事が届きやすいと信じられています。実はこの笹は、子どもたちの純粋な願い事が一つでも多く叶いますようにと願いを込めて、職員が院内の竹藪で採ってきたものです。

みなさんは今年の七夕ではどのような願い事をしましたか? 子どもから大人まで幅広い人たちが短冊に願い事をする、とても素敵な「七夕」の由来等を言い伝え、これからも2病棟では伝統を大切にしてイベント等を行っていこうと思います。

(保育士 伊藤 真衣)



5病棟の生活のひとコマ

今年も毎日暑いですが、夏といえばお祭り!! ということで、5病棟では「なつまつり」を3日間にわたって開催



しました。昨年度より開催日数を増やしたことで、患者さんお一人お一人にゆったりと楽しんでもらうことができた様子でした。

金魚すくい・亀釣りコーナーでは色とりどりの金魚をすくったり亀を釣り上げたりし、七夕コーナーでは短冊に願い事を書いて笹に飾り付けました。記念撮影コーナーでは、法被やお面をつけて写真撮影をしました。そしてお祭りのクライマックスは花火!!花火の大きな音にびっくりした表情を浮かべる姿もありました。おやつとしてかき氷や綿菓子进行いただき、どの患者さんも満足そうな表情をされていました。ご家族の参加もあり、大変盛り上がったなつまつりになりました。

(保育士 橋本 ひろみ)